

次期基本計画の改定に向けて

柴崎亮介（東京大学）

吉田富治（SPAC）

1. 提案のポイント

「地理空間情報活用推進基本計画」について、進捗や成果の確認、課題の抽出・整理、新たな検討項目の拾い出し・整理などを踏まえ、新たな地理空間情報高度活用社会の具体像の検討について、産官学の協働体制の下で推進してはどうか。

2. 提案の背景

- 1) 現行の基本計画が平成 23 年度に終了することから、次期基本計画を検討しはじめるべき時期にある。
- 2) 財政状況が厳しいなか、基本計画の成果、効果などを具体的・定量的に示すことが必要であり、そのための体系的・網羅的調査が特に必要である。
- 3) 地理空間情報の効果・影響の広がりや範囲は広範であり、技術的・経済的な環境も変化しており、より有効に地理空間情報の活用を推進するためのポイントを、産官学で再検討することが必要である。